



# 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユニカフェ  
 コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岩田 斉  
 (氏名) 長縄 明彦

TEL 03-5400-5444

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,879	△23.3	258	△46.3	266	△50.2	310	△23.0
26年3月期第2四半期	6,362	△23.8	480	246.8	535	626.2	402	367.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 251百万円 (△49.4%) 26年3月期第2四半期 496百万円 (318.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	22.40	—
26年3月期第2四半期	29.10	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,885	72.9	7,202	72.9	7,202	72.9
26年3月期	10,177	69.4	7,062	69.4	7,062	69.4

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 7,202百万円 26年3月期 7,062百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,772	△8.2	501	△32.4	517	△35.7	501	△27.0	36.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	13,869,200 株	26年3月期	13,869,200 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	27,400 株	26年3月期	26,920 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	13,842,000 株	26年3月期2Q	13,842,977 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日までの6ヶ月間）における当社グループを取り巻く環境は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られるものの、政府の経済対策による緩やかな景気回復の動きが見られております。しかしながら、天候不順による個人消費の落ち込みや中東情勢をめぐる地政学的リスクの高まりを背景とした海外景気の不安感や円安進行による原材料価格の上昇など、国内景気の下振れが懸念されております。

このような状況の中、レギュラーコーヒー業界につきましては、コンビニエンスストアでのカウンターコーヒーの隆盛やサードウェーブ・コーヒーなど新たなコーヒーブームと機能性を重視した製品展開等により、コーヒーの飲用の裾野が広がっています。一方で一部にデフレ脱却といった好転の兆しがあるものの、依然として同業各社が激しい競争環境の下で消耗戦を繰り広げている状況が長期間にわたって続いており、景気の先行きに対する不透明感から、消費者の消費志向も節約型・低価格志向型が定着しております。

さらに当社の業績に多大な影響を及ぼすコーヒー生豆相場につきましては、前年と比べ、高い水準で推移しており、なお先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、「T=Transformation=変革」「I=Innovation=革新」「C=Challenge=挑戦」の「TIC」を新たなキーワードとして収益構造の改善と内部統制の強化に注力し、「その上のコーヒー」を常に追い続け、チャレンジを続けております。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

## ① 「コーヒー関連事業」

「コーヒー関連事業」につきましては、国内において主力の工業用コーヒーの取扱数量の増加によるシェアの拡大に注力しました。業務用コーヒー・家庭用コーヒーの分野におきましては、OEM製品、NB・PB製品の販売に注力し、取扱数量増加に向けて、新規取引先の開拓と既存取引先に対する新製品提案を推進しました。

工業用コーヒーにつきましては、第1四半期連結会計期間より大幅に減少した一部の主要取引先における取扱数量が、当第2四半期連結会計期間においても低調に推移した結果、その他の主要取引先における取扱数量で補うことができず、当第2四半期連結累計期間の取扱数量は、前年を大きく下回りました。

業務用コーヒーにつきましては、主要取引先のカフェチェーンなどにおける取扱数量が好調に推移したほか、投資計画に基づきコーヒー生産設備の増設を行い、生産工程の効率化を推進しました。また、UCCグループ間での取扱数量の拡大に注力した結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、前年を大きく上回りました。

家庭用コーヒーにつきましては、NB・PB製品販売を中心に主要取引先における取扱数量が第1四半期連結会計期間に引き続き低調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の取扱数量は、前年を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は47億44百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

利益面では、コーヒー生豆相場の高騰及び為替相場の円安による製造コストの増加に加え、主力の工業用コーヒーの取扱数量の大幅な減少に伴い固定費の割合が増加したため、生産工程の効率化と販売費及び一般管理費の抑制に努めましたが補いきれず、営業利益は2億33百万円（前年同期比50.9%減）となりました。

## ② 「パルプモールド事業」

「パルプモールド事業」につきましては、連結子会社の上海緑一企業有限公司を通しての事業であり、主要取引先の売上数量が好調に推移し、前年を大きく上回った結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1億35百万円（前年同期比31.5%増）となりました。その営業利益は、24百万円（前年同期比650.5%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は48億79百万円（前年同期比23.3%減）、営業利益は2億58百万円（前年同期比46.3%減）、経常利益は2億66百万円（前年同期比50.2%減）、四半期純利益は3億10百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2億91百万円減少し、98億85百万円となりました。増減の内訳は、流動資産が3億41百万円減少いたしました。その主な要因は、売上高の減少に伴い、受取手形及び売掛金が67百万円減少したことによります。また、固定資産が49百万円増加いたしました。その主な要因は、投資有価証券が1億33百万円減少しましたが、有形固定資産が1億93百万円増加したことによります。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比4億32百万円減少し、26億82百万円となりました。増減の内訳は、流動負債が4億12百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が1億62百万円及び未払法人税等が1億36百万円減少したことによります。また、固定負債が19百万円減少いたしました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1億40百万円増加し、72億2百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は72.9%となり、前連結会計年度末比3.5ポイント増加しております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3億54百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には17億57百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、33百万円(前年同四半期は8億12百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が3億38百万円、売上債権の減少66百万円、たな卸資産の増加74百万円、仕入債務の減少1億62百万円及び、減価償却費1億37百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億99百万円(前年同四半期は13百万円の使用)となりました。これは主に、投資計画に基づいた3億50百万円の有形固定資産の取得及び投資有価証券の売却による収入1億52百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億13百万円(前年同四半期は73百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額1億10百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、平成26年10月24日公表の「平成27年3月期第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,111,983	757,410
受取手形及び売掛金	2,105,485	2,037,831
商品及び製品	169,395	254,162
仕掛品	36,957	19,538
原材料及び貯蔵品	220,800	227,280
繰延税金資産	177,604	177,604
短期貸付金	—	1,000,000
その他	51,560	58,558
貸倒引当金	△299	△290
流動資産合計	4,873,487	4,532,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,101,452	4,115,460
減価償却累計額	△1,611,056	△1,665,537
減損損失累計額	△205,334	△193,026
建物及び構築物（純額）	2,285,061	2,256,896
機械装置及び運搬具	3,410,974	3,652,054
減価償却累計額	△2,765,871	△2,795,625
減損損失累計額	△197,019	△185,209
機械装置及び運搬具（純額）	448,084	671,219
土地	1,639,318	1,639,318
その他	256,362	252,132
減価償却累計額	△199,558	△196,442
減損損失累計額	△1,764	△1,658
その他（純額）	55,039	54,031
有形固定資産合計	4,427,503	4,621,466
無形固定資産		
ソフトウェア	19,817	17,320
その他	106,692	98,721
無形固定資産合計	126,509	116,041
投資その他の資産		
投資有価証券	371,922	238,042
破産更生債権等	3,981,819	3,981,639
その他	44,584	44,584
貸倒引当金	△3,648,686	△3,648,686
投資その他の資産合計	749,639	615,580
固定資産合計	5,303,653	5,353,087
資産合計	10,177,140	9,885,185

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,840,380	1,678,120
短期借入金	460,000	460,000
未払法人税等	172,992	36,639
賞与引当金	59,248	47,200
役員賞与引当金	3,800	—
その他	503,703	405,780
流動負債合計	3,040,125	2,627,740
固定負債		
繰延税金負債	57,258	37,945
その他	17,191	16,716
固定負債合計	74,450	54,662
負債合計	3,114,575	2,682,402
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,216,500	4,216,500
資本剰余金	1,020,799	1,020,799
利益剰余金	1,709,424	1,908,745
自己株式	△39,405	△39,713
株主資本合計	6,907,317	7,106,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,400	68,523
為替換算調整勘定	51,846	27,927
その他の包括利益累計額合計	155,246	96,451
純資産合計	7,062,564	7,202,782
負債純資産合計	10,177,140	9,885,185

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	6,362,845	4,879,345
売上原価	5,117,466	3,868,366
売上総利益	1,245,379	1,010,978
販売費及び一般管理費	765,350	752,949
営業利益	480,028	258,029
営業外収益		
受取利息	40	876
受取配当金	754	808
受取家賃	3,679	4,216
投資事業組合運用益	54,907	—
受取保険金	3,840	—
その他	5,255	5,235
営業外収益合計	68,477	11,137
営業外費用		
支払利息	1,502	1,499
為替差損	11,929	1,245
その他	24	114
営業外費用合計	13,456	2,858
経常利益	535,049	266,308
特別利益		
投資有価証券売却益	—	72,604
固定資産売却益	74	—
特別利益合計	74	72,604
特別損失		
固定資産除却損	0	727
リース解約損	3,747	—
特別損失合計	3,747	727
税金等調整前四半期純利益	531,377	338,184
法人税、住民税及び事業税	128,490	28,125
法人税等合計	128,490	28,125
少数株主損益調整前四半期純利益	402,887	310,059
四半期純利益	402,887	310,059

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	402,887	310,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,116	△34,876
為替換算調整勘定	48,908	△23,919
その他の包括利益合計	94,025	△58,795
四半期包括利益	496,912	251,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	496,912	251,263
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	531,377	338,184
減価償却費	117,597	137,412
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23	△9
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,202	△12,048
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△3,800
受取利息及び受取配当金	△794	△1,684
支払利息	1,502	1,499
固定資産除却損	0	727
投資事業組合運用損益(△は益)	△54,907	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△72,604
売上債権の増減額(△は増加)	190,367	66,157
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,465	△74,830
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,489,477	△162,223
その他	△93,321	△87,810
小計	△763,416	128,970
利息及び配当金の受取額	754	1,649
利息の支払額	△1,507	△1,507
法人税等の支払額	△47,956	△162,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	△812,126	△33,640
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△13,370	△350,151
無形固定資産の取得による支出	—	△1,260
投資有価証券の取得による支出	△335	△351
投資有価証券の売却による収入	—	152,644
その他	75	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,630	△199,118
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△132	△307
配当金の支払額	△68,878	△110,308
その他	△4,205	△3,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,216	△113,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,255	△7,847
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△888,718	△354,572
現金及び現金同等物の期首残高	1,954,906	2,111,983
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,066,188	1,757,410

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。